



CANON MJ **TODAY** 2020/2021

キヤノンマーケティングジャパングループ会社案内

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ

真のパートナーとして、お客さまを深く理解し お客さまとともに発展する企業グループを目指します。

令和への改元により、新しい時代が始まりました。

デジタル技術の急速な進歩など、

さまざまな社会変化が起きる中、企業も社会も、

既存の枠を超えた新たなチャレンジが求められています。

こうした大変革の中、キヤノンマーケティングジャパングループは、

2018年に創立50周年の節目を迎え、

“第二の創業”としてスタートを切りました。

社会や市場の変化をビジネスチャンスと捉え、

ITソリューションなどの成長領域にビジネスを

シフトするとともに、全事業領域においてITを基軸とした

ソリューションを提供してまいります。

私たちの強みは、カメラメーカーとして長年培った

キヤノンのイメージング技術と、システム開発力や数理技術など

時代に先んじる独自のIT、中堅・中小から大手企業までの

広範で強固な顧客基盤を持ち合わせていることです。

これらを生かしたソリューションを提案することで、お客さまの

DX(Digital Transformation)を支援し、本年を最終年とする

5か年計画「長期経営構想フェーズⅢ」で掲げるミッション

「先進的な“イメージング&IT”ソリューションにより

社会課題の解決に貢献する」を果たしていく所存です。

これからも不変の行動指針である「顧客主語」を徹底し、

お客さまの課題解決に貢献する「真のパートナー」として、

お客さまをより深く理解し、

ともに発展する企業グループを目指してまいります。



キヤノンマーケティングジャパン株式会社
代表取締役社長

坂田 正弘

お客さまとの共創により、 社会課題の解決に貢献していきます。

キヤノンマーケティングジャパングループは、
2020年を最終年とする5か年計画「長期経営構想フェーズⅢ」において、
グループミッション・ビジョンを掲げています。
イメージング分野におけるキヤノンの開発力と幅広い製品群、
近年特に強化しているITの技術力など、
さまざまな強みを生かして事業領域を拡大させながら、
お客さまとの共創により社会課題の解決に貢献していきます。

キヤノンマーケティングジャパングループ
長期経営構想フェーズⅢ(2016年～2020年)

MISSION

先進的な
“イメージング & IT”ソリューションにより
社会課題の解決に貢献する

VISION

お客さまを深く理解し、
お客さまとともに発展する
キヤノンマーケティングジャパングループ

お客さまとともに発展していくために、
6つの基本方針と重点戦略を推進していきます。

1. お客さまの「真のパートナー」へ

お客さまを深く理解し、その課題を継続的に解決することで、
お客さまとの信頼関係を築いていきます。

2. キヤノン収益向上領域の高収益基盤の維持

高効率のマーケティング体制を強化し、
キヤノン製品を核とした事業領域の基盤を堅持します。

3. キヤノン成長領域のコア事業化

ネットワークカメラやデジタル商業印刷といった成長領域を
さらに強化し、事業の柱にしていきます。

4. グループ総力によるITソリューションビジネスの拡大

すべての事業領域でITソリューションを軸としたビジネスを拡大します。
さらに、国内外の優れた技術力を持ったパートナーとも
積極的に協業し、新たな独自事業も展開していきます。

5. 事業構造変革・プロセス変革の強力な推進

抜本的なビジネスプロセス・リエンジニアリング(BPR)を推進し、
次世代ITシステムを構築していきます。
また、お客さまを起点としたフレームワークのもと、
経営基盤をさらに強化していきます。

6. 社員が生き活きと輝く企業グループへ

自由闊達な風土を育てるとともに、
一人ひとりがプロフェッショナル社員として活躍する
企業グループとなることで、新しい価値を社会に提供していきます。

グローバルキヤノングループの一員として
高い付加価値を提供していきます。

キヤノン(株)と連携し、お客さまの声を研究・開発・生産の現場へ。

ものづくりへの参画

お客さまからの貴重なご意見は、次のものづくりへの出発点です。
私たちは、マーケティング活動におけるさまざまな接点を通じて、
お客さまの生の声にしっかりと耳を傾け、
キヤノン(株)をはじめとする研究・開発・生産の現場へフィードバック。
ものづくりの一翼を担う役割を果たしています。

キヤノン製品の
研究・開発・生産
CANON
キヤノン株式会社

ものづくりへの参画 / 優れた製品とものづくりのノウハウ

キヤノン製品の国内マーケティング
および、独自ソリューションの提供
CANON MJ
キヤノンマーケティングジャパングループ

アライアンス パートナー

国内外における優れた
技術力を持ったパートナー
と提携し、お客さまへ
最適なソリューションを
提供します。

キヤノングループは、グローバル企業として世界中で幅広い事業を展開しています。

その一員として、日本国内を中心にマーケティング活動やソリューション提案を担っているのが、
キヤノンマーケティングジャパングループです。私たちは、社員一人ひとりがお客さまに最も近い存在として、
「顧客主語」と「ものづくりへの参画」を実践し、お客さまの価値を最大化するお手伝いをしていきます。

顧客主語の実践

常にお客さま起点で考え、お客さまの立場で行動する。

お客さまが抱える課題を解決し、最大の価値を提供するために、
私たちが徹底しているのが「顧客主語」の実践です。

顧客主語とは「キヤノンは……」と自分たちを主語にするのではなく
「お客さまの課題は……」と常にお客さまの立場で考え、行動すること。
お客さまの視点に立つことで、真のニーズにお応えするソリューションを
提供しています。

お客さまの課題やニーズ / “イメージング & IT”ソリューションの提供

お客さま

ビジネス パートナー

さまざまなパートナー
との提携により、
多様化するお客さまの
ニーズにお応えします。

キヤノングループ企業理念 共生

キヤノンの企業理念は、『共生』です。私たちは、この理念のもと、文化、習慣、言語、民族などの違いを問わず、すべての人類が末永く共に生き、共に働き、幸せに暮らしていける社会をめざします。しかし、経済、資源、環境など…現在、地球上には共生を阻むさまざまな問題があります。

キヤノンは、共生に根ざした企業活動を通じて、これらを解消するため、積極的に取り組んでいきます。真のグローバル企業には、顧客、地域社会に対してはもちろん、国や地域、地球や自然に対してもよい関係をつくり、社会的な責任を全うすることが求められます。キヤノンは、「世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していくこと」をめざし、共生の実現に向けて努力を続けます。

キヤノングループ行動指針の原点

三自の精神「自発・自治・自覚」

何事も自ら進んで積極的に行い（自発）、自分自身を管理し（自治）、自分が置かれている立場・役割・状況をよく認識する（自覚）姿勢で前向きに仕事に取り組むこと

“イメージング”と“IT”の力で、お客さまとともに
新たな価値を創造し、DXの実現に貢献します。

“Imaging & IT” Solution



ビジネスの現場においてもデジタルによる企業変革と
新たな価値創造が求められています。

このような中、私たちキヤノンマーケティングジャパングループは、
自らも組織体制や基幹システム、業務プロセスの革新を進めながら、
多彩な製品とサービスによる幅広いソリューションを展開しています。
長年培った高度なイメージング技術と、先進のITの技術力、
さらに、強固な顧客基盤と、業種・業態に合わせたソリューション提案力。
これらの強みを生かし、暮らし・仕事・社会の幅広い領域において、
顧客起点の高付加価値サービスを提供することで、
お客さまのDX(Digital Transformation)の実現に寄与していきます。



安心・安全を支える

Security

進化し続けるソリューションが
「安心・安全」をお約束します。



映像を支える

Imaging

キヤノンのイメージング技術が
映像の楽しさと感動を伝えます。



オフィスを支える

Office

新たな働き方への転換を支援し、
快適で創造的な環境を実現します。



商業印刷を支える

Printing

新世代の高品質デジタル印刷で、
ビジネスの可能性を広げます。



ものづくりを支える

Manufacturing

先端技術を最適化して要所に導入、
現場の課題をチャンスに変えます。



金融を支える

Finance

変化に即応するソリューションで
お客さまの競争力向上を図ります。



教育を支える

Education

最先端のICT環境を構築し
教育の質的向上につなげます。



流通・サービスを支える

Commerce

データに基づく効果的な販促と
業務の効率化を支援します。



医療を支える

Medical

先進の医療機器と技術を総合して
人にやさしい医療を実現します。



パーソナルライフ

Personal Life

多様な写真の楽しみ方を提案し
お客さまの毎日を豊かに彩ります。

Security



デジタル時代に求められるセキュリティ対策で
社会の「安心・安全」を守り、変革に挑むお客さまを支えます。

産業界のデジタルシフトがさらに加速する今、5GやAI、IoTなどの先端技術を活用し、データ資産を用いた新たな付加価値の創造や社会問題の解決が期待される一方、多様化・巧妙化するサイバー攻撃により、リスクも増大しています。私たちは、幅広い業種・業態での豊富な経験をもとにシステム強化や技術開発に取り組み、高度なイメージング技術と最新のITを駆使したデジタル時代のセキュリティソリューションを提供。また、高精細画像を撮影できるネットワークカメラや映像解析ソフトウェア、ドローンなどの多彩な製品群や、高度な安全基準を満たしたデータセンターを活用し、幅広い分野に最適なソリューションを提供することでさまざまなリスクから守ります。社会全体の「安心・安全」に加え、新たな価値を創造するDX (Digital Transformation)の実現にも寄与します。

企業を取り巻く環境とニーズに合わせて デジタルセキュリティソリューションを展開

私たちはエンドポイントセキュリティ領域を中心に、ゲートウェイやサーバー、クラウドサービスに至るまで、セキュリティソリューションをワンストップで提供。総合情報漏えい対策ソリューション「GUARDIANWALL」や、ウイルス対策ソフト「ESETセキュリティソフトウェア」、統合脅威管理(UTM)アプライアンス「FortiGate」に加え、中堅・中小企業に特化したIT支援サービス「HOME」や「お手軽認証ソリューション」などにより、お客さまごとに最適なセキュリティソリューションを展開します。



“適材”技術を“適所”に組み合わせ より柔軟なソリューションを提供

キヤノンのNVSは、幅広いソフトウェアを活用することでお客さまの多様なニーズに柔軟にお応えします。たとえばビデオ管理ソフトウェア「Milestone XProtect®」はネットワークカメラやセンサーなどを一元管理し、効率的な広域監視を実現。また、セーフィー社のプラットフォームを活用した映像クラウドサービス「VisualStage」は、店舗管理やマーケティングにも活用できます。さらに、同社のクラウド型サービス「Safie」と「Milestone XProtect®」を連携させることで、映像情報の一括管理も可能に。多彩なソフトウェアの活用により、お客さまの「安心・安全」の実現とビジネスの発展に寄与します。



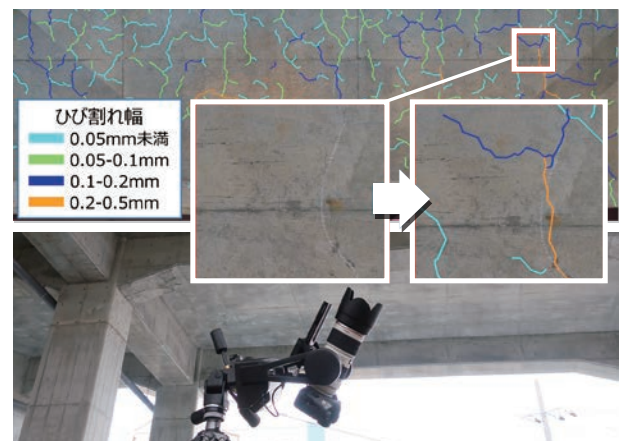
厳しい条件下においても“死角”をなくし 高精度の監視・見守りを実現

キヤノンのイメージング技術とアクシスコミュニケーションズ社のネットワーク映像処理技術を融合したネットワークビジュアルソリューション(NVS)の提供により、高精度の監視・見守りを実現します。暗闇でもカラーのフルHD動画撮影が可能な超高感度カメラや、物体の温度を検知する温度アラームカメラなどを幅広くラインアップ。ビデオ管理ソフトウェアのトップランナーであるマイルストーンシステムズ社の映像管理基盤システムと連携したデータの管理・分析により、他にはない「安心・安全」を実現します。



劣化の兆候をいち早く察知し 社会インフラの維持管理に貢献

現在、高度経済成長期に造られた橋梁やトンネルなど、社会を支えるインフラ構造物の老朽化が問題となっており、高精度で高効率、かつ安全な点検作業へのニーズが高まっています。私たちは豊富なカメラやドローン、自動撮影雲台などを活用した高精細画像撮影と、長年培った高度な画像処理技術、さらにAIを用いた変状検知の3つのサービスからなる画像ベースインフラ構造物点検サービス「インスペクション EYE for インフラ」を提供。定期点検はもちろん、施工・維持管理にも役立てることで、社会インフラ業界全体に貢献します。



Imaging

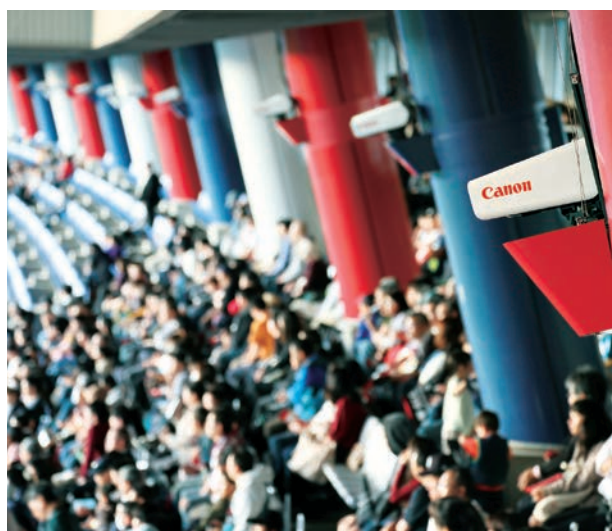


キヤノンの優れたイメージング技術と新たな挑戦が
これまでにない感動体験と多彩な映像の楽しみ方を提供します。

一層の盛り上がりを見せるスポーツ界において、キヤノンはレンズ交換式カメラや放送用レンズ、ネットワークカメラなどの多彩な機器や映像技術の活用に加え、プロフォトグラファーへのサポートを行っています。さらに先進のテクノロジーを駆使した「臨場感映像」のライブビューイングや「自由視点映像生成システム」など、これまでにない映像世界の提供に取り組んでいます。スポーツ以外でも、演出や集客力向上に貢献するプロジェクターや映像制作機器などを活用したサービスも提供。プロの現場で培った技術と経験を生かし、映像表現のさらなる発展に貢献していきます。

選手の息づかいが感じられる映像で 新しいスポーツ観戦のあり方を提案

スポーツの魅力を多くの人に味わっていただけるよう、新たな映像ソリューションの実用化に向け取り組んでいます。たとえば、スタジアム内を囲むように配置した高解像度カメラで撮影した映像を処理し、あらゆる位置から好みの角度で映像が見られる「自由視点映像生成システム」もその一つ。また、8Kカメラや4Kプロジェクターを活用し、観客席にいるかのような広い視界と感動を味わえる「臨場感映像」や細部までクリアに見える「8K高精細映像」のライブビューイングなど、スポーツの新しい楽しみ方を提案していきます。



プロフォトグラファーの挑戦を 確かな技術と充実したサービスで支える

屋内、屋外を問わずあらゆる環境下で一瞬のドラマを捉えるプロフォトグラファーの世界。そこで多くのプロフェッショナルに愛用されてきたのが、キャノンのレンズ交換式カメラです。長年培ったイメージング技術に加え、お客さまからいただいたご意見をもとに開発を重ねていくことで、さらなる高画質・高速性能と優れた操作性を備えた機器を生み出してきました。きめ細かなサービスとサポート体制も、プロの活躍を支えています。今後も変わらぬ姿勢で、お客さまの期待に応えていきます。



さまざまな環境で 自在な映像表現を 高性能のプロジェクターが実現

鮮明かつ滑らかな映像でプロジェクションマッピングにも力を発揮しているのが、キャノンのプロジェクター「POWER PROJECTOR」です。高輝度・高画質に加えて優れた設置性により、会議室から店舗やショールーム、各種イベントまで、幅広い現場で最高の映像表現を実現。訴求力の高い映像で、集客力の向上に貢献します。



写真：©2019 NAKED Inc.

放送用映像制作ならではの ニーズに的確に応える ソリューションを展開

報道やロケ撮影、イベント中継からスタジオでの番組制作まで、さまざまな撮影に使用される放送用レンズ。高画質に加えて小型・軽量化で機動性を高め、滑らかなフレーミングを実現しました。新4K・8Kへと放送規格が高精細化する中、私たちは現場のニーズを的確に捉え、進化するソリューションを提供します。



撮影の幅を広げ 思い描いた通りの映像表現を 可能に

映画やCMなどの撮影現場で力を発揮するのが、高画質・高感度を誇る映像制作機器「CINEMA EOS SYSTEM」です。広いダイナミックレンジを備え、シネマレンズとの組み合わせで、制作者の意図する撮影が可能です。さらに、小型・軽量化と高精度のAF機能により、高い機動力を確保。コストをかけず、クオリティーの高い映像表現を実現します。



Office



柔軟で効率的な次世代型ワークスタイルへの転換を支援し
より快適で創造的なオフィス環境を実現します。

今、ビジネス環境は働き方改革やワークスタイルの多様化など、大きな変革期にあります。私たちはオフィス向け複合機などの多彩なビジネス機器、クラウド型の印刷管理ソリューション、IT支援サービスなどを組み合わせたソリューションを全国のお客さまに提供。業務の効率化や生産性向上をサポートします。また、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービスや、RPA関連製品の販売、導入支援・導入後サポートなどにより、企業の業務プロセスの見直しや経営資源の効率化、生産性向上を支援。このほか、高度な設備とセキュリティを備えたデータセンターが、クラウドサービスやITシステム基盤構築、システム運用サービスなど、ビジネスを強力にバックアップします。

先進的なソリューションが より効率的で快適なものに

オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE」やビジネスインクジェット複合機、クラウド型の印刷管理ソリューション「uniFLOW Online」、中小オフィス向けIT支援サービス「HOME」などを連携し、お客さまごとに最適なオフィス環境を提供。業務の効率化と生産性向上を実現します。



ワークスタイルの変革を 確かな技術力でバックアップ

顔認証機能で勤務時間を記録し、勤務者以外の人物を検知・ログ取得、さらに業務内容の見える化や分析が可能なクラウド型テレワーク支援サービス「テレワークサポーター」などにより、ワークスタイルを問わず円滑なコミュニケーションを可能にし、柔軟で生産性の高い働き方を支援します。



IoTを活用したサービスを オフィス向けECサイトで展開

オフィス向け通販サイト「コレモール」は、キヤノン製品をはじめ、オフィスに必要な製品やお役立ち情報を提供しています。プリンターのトナーやインク残量をIoTで検知し、自動配送するサービスもご用意。充実したサービスが、お客さまのビジネスをサポートします。

▶ canon.jp/colemall



幅広いBPOサービスにより 経営資源のさらなる集中を支援

クラウドサービスやOCRなどのITを組み合わせて、文書の電子化やドキュメントセンターの運営、バックオフィス業務やコールセンター、人材育成など、幅広いBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）サービスを提供。業務の流れを可視化しフローを設計した上で、経営資源の効率化と生産性向上を支援する、最適なソリューションを提案します。



IT専任者の代わりとなって オフィスの“困りごと”に柔軟に対応

中堅・中小企業のお客さまが抱えるIT専任者不在などの課題に対し、見積作成と販売管理の連携をRPAで完全自動化する「お手軽見積サービス」や、システム構築や障害復旧全般を支援するIT保守サービス、災害時などの緊急事態にも事業継続を可能にするソリューションなどを提供することで、お客さまの多様なニーズにトータルでお応えします。



進化し続けるデータセンターが 先進的なソリューションを提供

ITインフラサービスの中核を担い、クラウドサービスやシステム運用サービス、データセンターサービスなどを拡張させるのが、高性能な設備と厳重なセキュリティ、高い運営品質を満たす西東京データセンターです。新棟も稼働予定で、首都圏同時被災リスクが低い沖縄データセンターとも連携。急速なビジネス変革に対応するサービスにより、お客さまの成長に寄与します。



新棟完成イメージ



より高画質に、フレキシブルに。
新世代のデジタル印刷で
ビジネスの可能性を広げます。

商業印刷業界では、多品種・小ロットに加え、高速・高画質印刷へのニーズが高まっており、バリエブル印刷やオンデマンド印刷など、デジタル印刷はさらなる用途拡大が見込まれます。私たちは高品質デジタル印刷機を多数ラインアップし、壁紙やバナーなど、紙以外の素材にも印刷可能な産業印刷プリンターもご用意しています。「カスタマーエクスペリエンスセンター東京」では印刷工程全体を実体験でき、工程全体のコーディネートからサポートまで幅広いソリューションを提供。今後も多様なニーズにお応えし、印刷ビジネスの可能性を広げていきます。

次世代の印刷ビジネスを支える 最適なソリューションを提案

「カスタマーエクスペリエンスセンター東京」は、オープンワークフローをキーワードとした印刷工程全体のコーディネートから、お客さまの多様なご要望に合わせた用紙や、実ビジネスを想定した印刷用データの持ち込みによる検証サポートまで、先進的で幅広いソリューションを提供しています。

オフセット印刷に迫る高い画質と 安定性で幅広い用途に対応

デジタル印刷機でありながらもオフセット印刷に迫る高画質、高い安定性と操作性を兼ね備えているのがプロダクションプリンター「imagePRESS」です。印刷業をはじめとするプロダクションニーズからオフィスでの高画質プリントまで、多様なご要望にお応えします。

美しい写真出力と文字印刷で 高付加価値のビジネスをサポート

印刷業界や付加価値の高い写真商材の制作を行うリテールフォト業界向けに特化した業務用フォトプリンター「DreamLabo」。キヤノンが長年培ってきたインクジェット技術をさらに進化させ、美しい色彩の写真出力と高精細な文字印刷を実現。業務用にふさわしい高画質と高生産性を兼ね備えています。





先端技術を最適化して
ビジネスサイクルの要所に導入。
ものづくりの現場を支えます。

労働力の確保や技術伝承が困難になる一方、迅速な開発・生産が求められている、ものづくりの現場。私たちは需要予測や生産管理、会計・人事給与システムなどを最適形で組み合わせられるベスト・オブ・ブリード型の基幹業務トータルソリューション「AvantStage」を提供しワンストップで支援します。また、金属3Dプリンターやマシンビジョンなどの活用により、各工程の自動化や効率化を進めます。ものづくりとITの基盤技術を支える半導体デバイスについても、最先端の技術を持つ世界中のパートナー企業と連携。最適なソリューションを提供します。

金属3Dプリンターによる積層造形で 高機能部品の製造体制を実現

従来の切削加工では作れなかった機能的な構造部品を一体造形できる「金属3Dプリンター」は、航空・宇宙・エネルギー産業などの重工業分野や自動車分野で導入されています。私たちは3D SYSTEMS社の金属3Dプリンターを活用したソリューションにより、ものづくりの変革と高品質、コスト低減を実現します。



次世代型のビジョンシステムで 生産現場のさらなる効率化を実現

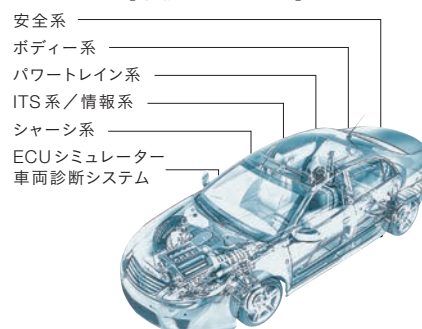
産業ロボットの“眼”となるマシンビジョン。私たちは産業向けに販売をスタートさせたCMOSセンサーを活用し、他社とも連携しながらビジョンシステムの進化形を目指します。キヤノンのイメージング技術に加え、AIや通信機能を持たせた新たなソリューションを展開し、ものづくりの現場の効率化や品質向上を支援していきます。



組込みシステムの開発経験を生かし お客さまに最適なサービスを提供

コンシューマー機器からオフィス機器、産業機器、車載製品まで、幅広い製品に欠かせないのがソフトウェアです。それらの開発に長年携わる中で培った技術力とノウハウにより、コンサルティングから開発、品質検証まで、開発のライフサイクルに合わせた最適なサービスを提供。お客さまのニーズに合わせた製品の機能強化と品質向上を実現します。

〔車載システム開発〕





写真：埼玉縣信用金庫

デジタル技術による業務改革で
効率化と顧客満足の双方を実現。
新たな社会のニーズに応えます。

少子高齢化や広域化する自然災害など社会状況の変化に伴い、金融業界はデジタル技術による業務の効率化や、顧客対応の迅速化が求められています。私たちはクラウドサービスを軸に、預かり資産の販売を支援する信用金庫向けサービス「しんきん預かり資産ナビ」や、キヤノンの画像処理技術で多様な文書の電子化を行うOCRソリューション群など、高性能かつスピーディーで安価なサービスを提供。さらに自然災害に迅速な対応が必要な損害保険会社にて特化したシステム構築など、技術と経験に基づいた幅広いソリューションでお客さまの業務改革と営業力強化を支援します。

デジタル化と数理技術による業務の最適化で 広域災害時の迅速な保険金支払いを可能に

近年自然災害が多発しており、広域災害時には立会調査や事務作業が集中し、保険金の支払いまでに時間を要するのが現状です。私たちは被害報告受付から状況確認、保険金支払いまでのプロセスの迅速化を目指す損害保険会社向けに「立会最適マッチングシステム」を構築。アポイントのデジタル化や、数理技術を活用した対象物件と担当者のスキルマッチング、立会計画立案の自動化・最適化などにより、立会業務の効率化と保険金支払い期間の短縮を実現し、社会課題の解決に貢献します。



写真：東京海上日動火災保険株式会社

市場変化や技術革新にいち早く対応できる 柔軟で効率的なシステム構築をサポート

金融業界は顧客ニーズの変化に加え、AIなど技術革新の潮流のただ中にあります。私たちはIT戦略の立案からプロジェクトマネジメント、設計・開発、システム運用・保守までトータルなサービスを提供し、市場の変化に即応できるシステム構築をお手伝いします。勘定系業務や顧客管理などの銀行業務システム、オンライントレーディングを含む証券業務システムや保険業務システムなど、幅広い業務システムを一貫してサポートし、お客さまの競争力強化と企業価値の向上に寄与します。





写真：明治大学

ICTを活用したソリューションが
教育の質的向上と
業務負担軽減をサポートします。

EdTechやアクティブ・ラーニングの導入など、大きな変革が求められている教育現場において、私たちは教育支援情報プラットフォーム「in Campus SERIES」を提供しています。学内情報の発信・共有ツール「Portal」や「LMS」、端末管理ツールなどを柔軟に組み合わせ、最先端のICT環境構築が可能です。AIを活用した授業支援クラウドシステム「in Campus Scan」は、業務負担軽減にも寄与。さらにキヤノンの多彩な機器とイメージング技術を活用し、多様なニーズに応じた学習環境の構築が可能に。教育機関の価値向上を図り、教育の質を高めます。

鮮明な色彩と高い視認性が 授業への理解と集中を深める

高解像度で美しい映像に定評のあるキヤノンのプロジェクターは、教育現場でも幅広く活用されています。発色の鮮やかさや色の再現性が重視されるデザインやアートの分野でも力を発揮。教室内のスクリーンやモニターで画像などをクリアに表示し的確に伝えることができ、授業の理解度向上に貢献します。さらに、お客さまのご要望に合わせ、モニターや音響システムなどとも柔軟に組み合わせてご提供するなど、きめ細かいソリューションで、先進的な学習環境の創造に寄与します。



写真：東京コミュニケーションアート専門学校

未来のIT技術者育成に向けて 産学連携教育プログラムを提供

AIやビッグデータの活用に伴いITの需要が高まる一方、労働人口の減少が予測される日本。IT技術者の不足は大きな課題となっています。その解決の一助となるよう、教育機関と連携し、IT人材育成用の学生教育プログラム「ローコード開発講座」を提供しています。たとえばオートメーションプラットフォーム「Web Performer」を使ったシステム開発の講義やワークショップなどを実施。今後も同様の取り組みを検討し、IT技術者の人材育成や教育現場の課題解決に貢献します。



写真：日本工学院専門学校



来店者分析から販促ツール作成、決済処理まで、幅広いサービスで販売促進と効率化を支援します。

労働力の減少やeコマースの広がりなど、小売業を取り巻く環境が急激に変化しています。そうした中、私たちはネットワークカメラと映像管理ソフトウェアの活用により、来店者の数や属性を可視化。POSデータと組み合わせて分析し、効果的な販売促進につなげるソリューションを提供します。さらに、色鮮やかな掲示物を手軽に印刷できる大判プリンターやスピーディーで快適な出力を実現するレーザービームプリンター、販促業務をトータルで支援するサービスなど、幅広いソリューションでお客様の課題を解決し強みへと変えていきます。

タイムリーかつ低コストで作成できる色鮮やかな大判掲示物が集客にも貢献

高画質と高生産性を両立する大判プリンター「imagePROGRAF」は、ポスター作成専用のアプリケーションを備え、インバウンドによりニーズが高まる多言語ポスター作成支援機能も強化しています。訴求力の高い色鮮やかな大判掲示物を迅速かつ低コストで作成することができ、タイムリーで効果的な情報発信が可能です。



写真：ジンス

各種電子マネーにも対応可能な携帯サイズのPOSレジを提供

POSと連動し小型で持ち運び可能、どこでも決済とレシート発行ができるのが、モバイル決済POSシステム「POS-TABLE (ポスタブル)」です。暗いところでも見やすい液晶タッチパネルを備え、シンプルな操作性が特長。各種電子マネーなどにも対応し、訪問販売時やレストランでのテーブル決済など幅広いシーンで活用いただけます。



写真：道の駅 川場田園プラザ

POPシステムとプリンターの活用で小売最前線での販促業務を効率化

販売現場でタイムリーな販促を支援するのが、流通小売向けPOP/ポスター制作システム「ポップエース」。本部作成のPOP掲示物のデータを一元管理。店舗はいつでも必要枚数を印刷でき、負担なく販促活動が行えます。スピーディーにプリント可能なレーザービームプリンター「Satera」からの出力で、業務の効率化と競争力強化を支援します。





医療現場が直面する課題に対応。
進化し続けるソリューションで柔軟
かつ高度な医療をサポートします。

医療従事者の絶対数不足や長時間労働など多くの課題を抱える医療業界。業務の効率化や働き方改革に加え、総合的なサービスを提供できる医療情報システムが求められています。私たちはクラウド技術を用いて、遠隔地にいる医師と医療機関をつなぐ、医用画像クラウドサービス「Medical Image Place」により、医療現場のさまざまなニーズにお応えします。たとえば病院の外にいても医用画像を確認できる「モバイル画像参照サービス」は、迅速な判断と治療が求められるスポーツ医療の現場でも活躍しています。

クラウドで医用画像の共有と活用を促進し 医療サービスのさらなる質の向上に寄与

診断や治療方針の決定に重要な役割を果たす医用画像。医用画像クラウドサービス「Medical Image Place」は、それらの画像をクラウド上に保管し閲覧できる「医用画像システムサービス」や、地域の診療所と拠点病院をつなぎ医療情報を共有できる「地域連携サービス」など多彩なサービスを展開しています。医療機関をはじめ健診機関、在宅医療など多くのシーンで活用され、健診業務の効率化や地域医療の質の向上に寄与します。



写真：久我山クリニック

さまざまな規模の医療機関に向けて 最適なシステムと充実したサポートを提供

私たちは長年、電子カルテを中心とした医療情報システムの販売・導入に携わり、大規模病院から診療所まで幅広いソリューションを提供してきました。その経験豊富なマルチベンダーの強みを生かし、システム導入からサポートまでトータルで提案しています。導入後のインストラクター派遣をはじめ、システムの操作方法や障害対応など多岐にわたるお問い合わせに的確に対応。また、東京と大阪の2か所にサポートセンターを設置し、万が一の大規模災害が発生した場合にも継続的な対応が可能です。



A group of young women are gathered around a wooden table, engaged in a creative activity. One woman is holding a smartphone, showing something on the screen to the others. On the table, there is a camera, a book, a bowl of popcorn, a plate of cookies, a vase of flowers, and various craft supplies like markers and paper. The atmosphere is collaborative and creative.

19

多彩なレンズ交換式カメラが 映像表現の幅を広げる

撮りたい時に思い通りに撮影できるのが、レンズ交換式カメラ「EOS」です。初心者から上級者まで、幅広いお客さまに向け多彩なラインアップをご用意しています。フルサイズのミラーレスカメラ「EOS R」や小型・軽量の「EOS RP」、長年ご支持いただいているファミリー向け「EOS Kiss」のミラーレスモデル「EOS Kiss M」。さらに多彩なレンズ群も取り揃え、新たな映像表現を可能にします。



最新製品をいち早く体験できる ワークショップやイベントも開催

カメラやレンズ、プリンターなど、幅広いキヤノン最新のパーソナル製品を展示し、その場で体験していただけるのが、キヤノンプラザ S (品川) とキヤノンデジタルハウス (銀座・大阪) です。製品の使い方や楽しみ方をご紹介する多彩なワークショップやイベントも随時開催。実際にショールームで体験しながら、キヤノン製品のさまざまな活用方法や新しい楽しみ方を、スタッフと一緒に見つけていただけます。



印象的な写真を手軽に撮りたい お客さまの望みに的確に応える

SNSは今や生活の一部。もっと魅力的な写真を投稿したいというニーズにお応えするのが、撮影コミュニティサービス「fotomoti(フォトモチ)」です。レンズ交換式カメラからスマートフォンでの撮影のヒントや上達のコツまで簡単に共有できます。また、超小型・軽量で、バッグや衣服に簡単に付け外しできるアソビカメラ「iNSPiC REC」なら、心が動いた瞬間を逃さず撮影。表現の幅を広げます。



製品の購入やサポートをはじめ 役に立つ情報が満載のWebサイト

無料で登録できる会員サイト「CANON iMAGE GATEWAY」では、プロ写真家の作品や撮影テクニックを紹介。さらに、フォトコンテストを実施するなど、多彩なコンテンツとサービス情報が満載です。

▶ canon.jp/cig

キヤノン製品を中心に、カメラやプリンター、消耗品や公式ファングッズなどが購入でき、お買い物でポイントも貯まる便利でお得な公式オンラインショップもご用意しています。

▶ canon.jp/shop



スマートフォンからも簡単プリント 多彩な用紙にも印刷可能に

用途に応じた幅広いラインアップを揃えているのが、インクジェットプリンター「PIXUS」です。スマートフォンからのプリントニーズにお応えするため、スマートフォンから簡単に編集・プリントができるアプリやSNSと連携したプリントサービスなどもご用意しています。お好みや用途に合わせて、スクエアサイズや名刺サイズなどの多彩な用紙、さらにTシャツやトートバッグにも対応し、写真の楽しみ方を広げます。



直販ECサイトを開設し 多様なサービス提供を推進

これまで多彩な製品を幅広いチャネルで販売してきた実績をもとに、ゲーミングPCメーカーのエムエスアイコンピュータージャパン(MSIジャパン)社と、直販ECサイト「MSIストア」を開設。ゲーミングPCに加え、高性能なクリエイター向けPCの独自モデルを販売します。今後さらにアライアンスを加速させ、ECサイトの開発・運用など新たなビジネスモデルを強化し、お客さまに合わせた多様なソリューションを提供していきます。



写真表現のさらなる可能性を切りひらき 創造性と楽しさに満ちた未来づくりに貢献します。

写真という表現にはまだまだ大きな可能性が秘められています。私たちは新たな表現の世界に挑む人たちに応援し、すべての人が写真や映像の楽しさをより深く感じられるよう、多彩なステージをご用意しています。



楽しみながら 撮影技術やカメラを学ぶ

会員制コミュニティ「キヤノンフォトサークル」では、プロ写真家の作品や撮影テクニックの解説、製品情報や技術説明などを掲載する会報誌をお届けします。さらに、多彩な撮影イベントや写真コンテストなども開催し、会員の充実したフォトライフをサポートしています。



多彩な写真講座で 楽しいフォトライフを提案

多くの方に写真の楽しさを知っていただき表現の可能性を広げるための写真教室が「EOS学園」です。第一線で活躍する写真家を講師に招き、講義と実習による講座を、東京校、名古屋校、大阪校で開催。レベルや目的に合わせて、多彩な講座からお選びいただけます。



45年以上、写真と映像の魅力を 伝え続けるギャラリー

全国3か所で展開する「キヤノンギャラリー」。東京・品川の「キヤノンギャラリー S」では著名写真家中心の写真展を、「オープンギャラリー1・2」ではフォトコレクション展などを開催。銀座、大阪のギャラリーでは公募による写真展を行うなど、写真と映像の楽しさを伝える取り組みを進めています。



幅広い分野で写真愛好家の ベストショットを募る

開催回数50回を超える、国内のアマチュアを対象とした国内最大規模のフォトコンテストが「キヤノンフォトコンテスト」です。「自由」「自然」「動体」「人物」などの部門があり、各分野の著名写真家が審査。入賞作品はキヤノンギャラリーやWebで公開され、写真愛好家の皆さまに楽しんでいただいています。



「輝く人たち (SHINES)」を 見いだすプロジェクト

プロ写真家として新たな表現に踏み出そうとする人たちの発掘するオーディションが「SHINES(シャインズ)」です。書類選考を通過し、作品とプレゼンテーションにより選ばれた人は、写真集を制作し書店にて展示・販売。新たな写真の可能性を切りひらく人材の発掘に寄与しています。



共同制作の作品で日本一を目指す 「写真甲子園」に協賛

北海道東川町で開催される「写真甲子園(全国高等学校写真選手権大会)」に、1994年より協賛しています。全国の高校写真部などから作品を募集し、各地域での予選を勝ち抜いた代表校が、東川町での本戦で全国一を目指すものです。学生の創造性の育成と、地域活性化に貢献しています。

ご家庭からさまざまなビジネスシーンでの活用まで
お客さま第一のサポート体制で、安心・安全をお届けします。

私たちは、購入・導入いただく製品・サービスの品質の維持向上に努めるとともに、購入後・導入後もお客さまに「安心」「安全」をお届けできるよう、充実したサポート体制を整えています。



ホームページや電話によるサポート

お客さまのご要望に合わせて、ホームページや電話、メールなど、幅広い問い合わせ方法をご用意しています。

■ホームページによる情報提供

ホームページのサポート専用ページでは、お客さまの課題解決に役立つ動画配信やQ&Aなどの情報提供、メールでの問い合わせ受付のほか、製品カタログやソフトウェアのダウンロードが可能です。▶canon.jp/support

■電話による問い合わせサポート

直接オペレーターが電話でお応えするコンタクトセンターをご用意しています。購入前のご相談から製品情報の提供、操作の困りごとや修理のご依頼などをお受けしています。



多様な保守サービスメニュー

■訪問修理サービス

オフィス機器を安心してお使いいただけるよう、修理の際の訪問料や技術料・部品代がパッケージ化された保守サービス「キャノンサービスパック」をご用意しています。ご購入から3年間・4年間・5年間の保証期間をお選びいただけます。

■引取修理サービス

電話やホームページからのお申し込みで、修理したい製品の梱包からお引き取り、修理、お届けまで対応する、簡単・便利なサービスです。

■メンテナンスサービス

カメラやレンズの清掃から調整まで、製品を安心してお使いいただくためのメンテナンスサービス「あんしんメンテ」を提供しています。



オンラインサポートと迅速な訪問サービス

遠隔モニタリングを行うオンラインサポートサービス「ネットアイ」は、複合機やプリンターのカウンターの検針、エラーや紙づまり、トナー残量の情報を、インターネットを通じてネットアイセンターへ自動通知することで、管理業務や消耗品の在庫スペースを効率化。業務負荷を軽減し、快適な使用環境を提供します。▶canon.jp/neteye
さらに、製品の設置からメンテナンス、機器の使い方に関するアドバイスまで、豊富なノウハウと高度なスキルを持ったカスタマーエンジニアがトータルにサポート。トラブルが発生した際には、全国約170か所の拠点から迅速に訪問し、的確なアフターサービスを提供します。



専門分野を支えるサポート体制

商業印刷で求められる高画質プリントや書籍・DMの印刷などを行うプロダクションプリンターのメンテナンスや保守サポートのほか、導入いただいたお客さまへ操作トレーニングサービスを提供しています。また、映像制作機器「CINEMA EOS SYSTEM」や放送用映像機器の導入、ネットワークカメラの取り付け、録画サーバーを含む映像解析ソリューションの提案を行っています。
産業機器においては、半導体プロセス装置や計測機器に加え、デバイスの微細化・高密度化に伴い、さまざまな製品を取り扱う中、お客さまの装置が常に安定稼働するように、フィールドエンジニアが確実なサポートに努めています。

Framework

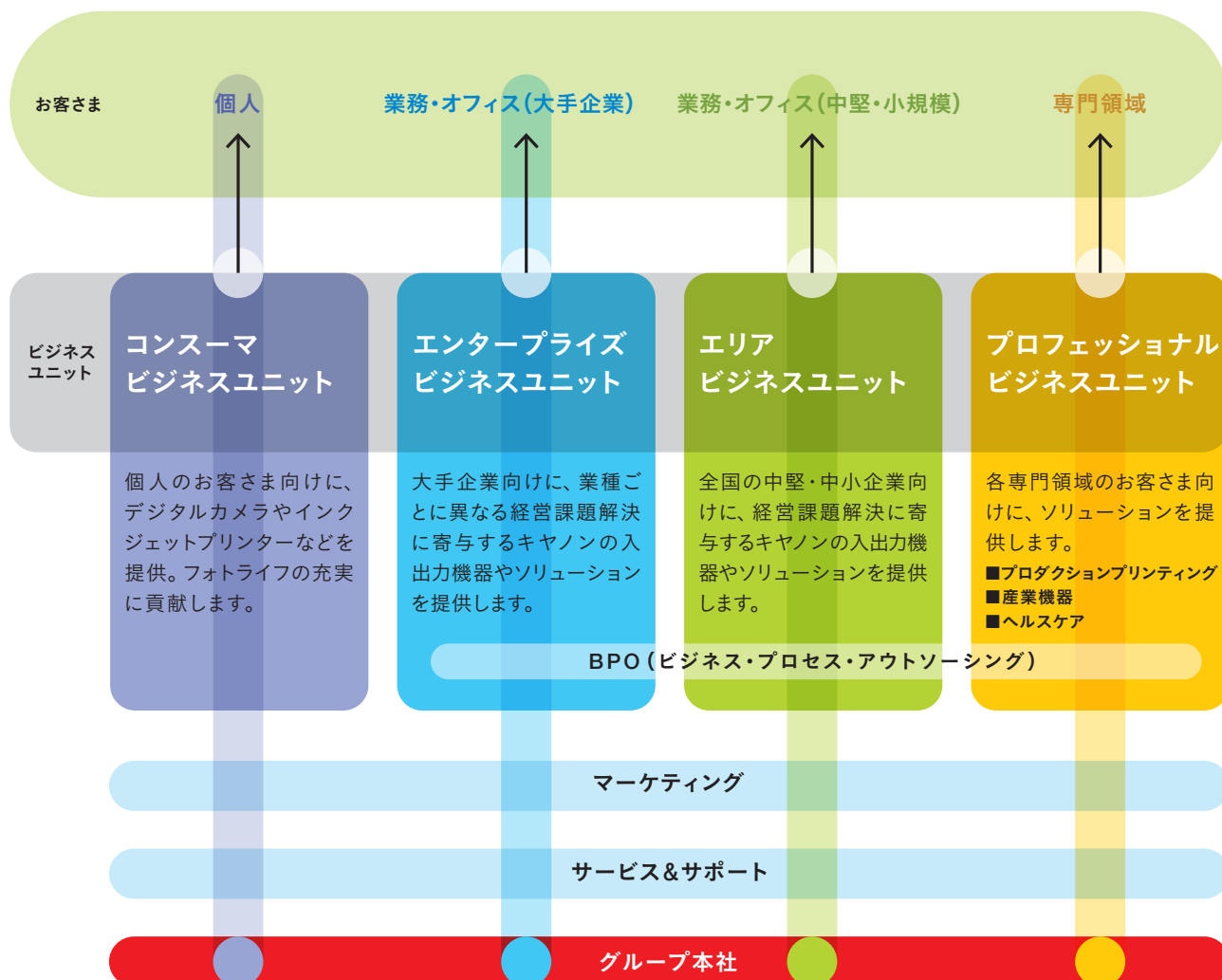
顧客起点の組織体制のもと、「真のパートナー」として
お客さまとともに社会課題の解決を実現します。

近年、技術革新が急速に進む中、ビジネスや暮らしが大きく変容し、

お客さまの課題もますます高度化、複雑化しています。

このような中、私たちは、お客さまを起点とした組織体制のもと、

幅広い製品群とイメージング技術、ITとを組み合わせ、業種・業態に合わせた最適なソリューションを提供することで、
お客さまの新たな価値創造を支援し、社会課題の解決に貢献していきます。



レンズ交換式カメラ
「EOS」



コンパクトデジタルカメラ
「INSPIC REC」
「PowerShot」



ミニフォトプリンター
「INSPIC」



インクジェットプリンター
「PIXUS」



オフィス向け複合機
「imageRUNNER
ADVANCE」



ビジネス
インクジェット
複合機



レーザービーム
プリンター
「Satera」



大判プリンター
「imagePROGRAF」



プロジェクター
「POWER PROJECTOR」



映像制作機器
「CINEMA EOS
SYSTEM」

社名	設立年月	資本金(百万円)	従業員数(名)	主要事業	2020年4月1日現在
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	1968. 2	73,303	5,126	キヤノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング	

エンタープライズビジネスユニット

キヤノンITソリューションズ(株)	1982. 7	3,617	3,678	SIおよびコンサルティング、ITサービス、各種ソフトウェアの開発、販売
スーパーストリーム(株)	1986.12	100	96	経営基盤ソリューション(会計・人事給与)「SuperStream-NX」の企画、開発、販売
クオリサイトテクノロジー(株)	2003.11	100	229	Javaに特化したシステム開発、データセンター運営、維持と付帯するサービス
Canon Software America, Inc.	1988. 6	80万USドル	26	グループ企業向けの各種ビジネスアプリケーションソフトウェア、ドキュメントソリューションの開発
佳能信息系统(上海)有限公司	1997. 6	235	33	中国国内企業(グループ企業・日系企業・欧米系企業・中系企業)向けコンサルティングおよびSI開発と各種ソリューションの導入
Canon IT Solutions(Thailand) Co., Ltd.	2012. 8	890万バーツ	—	タイ、ベトナムのグループ企業の事業統括
Material Automation(Thailand) Co., Ltd.	1992. 1	5,000万バーツ	167	ITハードウェアからソフトウェアに関わる提案、販売、サービスの提供
ASAHI-M.A.T. Co., Ltd.	1997. 1	200万バーツ	—	タイ国内におけるCAD/CAM/CAEの販売、サポート
MAT Vietnam Company Limited	2006. 8	20万USドル	15	ベトナム国内におけるITハードウェアからソフトウェアに関わる提案、販売、サービスの提供
エディフィストラニング(株)	1997. 4	100	54	人材育成コンサルティング、各種研修および付帯するサービス

エリアビジネスユニット

キヤノンシステムアンドサポート(株)	1980. 5	4,561	5,178	キヤノン製品および他社製ITソリューションなどのコンサルティング、販売、サポート、保守サービス
エーアンドエー(株)	1984. 6	20	65	3D CADソフトウェア「Vectorworks」の日本語ローカライズを含む国内独占販売および関連ソフトウェアの企画、開発、販売

プロフェッショナルビジネスユニット

プロダクションプリンティング				
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ(株)	2014. 4	2,745	474	プロダクション印刷機器および消耗品の販売、保守サービスの提供、ワークフローシステムなどの開発、提供、印刷サービスの提供など
ヘルスケア				
キヤノンITSメディカル(株)	1972.10	96	168	医療ヘルスケア分野向けITソリューションの提供、システム開発、ネットワーク構築、ハードウェア販売

BPO※サービス

キヤノンビズアテンダ(株)	1985.10	100	302	コンサルティング、事業支援BPO、バックオフィスBPO、オフィスサポートアウトソーシング、コンタクトセンターアウトソーシング、人材派遣など、各種サービス
キヤノンビジネスサポート(株)	1997. 9	100	371	キヤノンマーケティングジャパングループのオフィスサービス、BPO関連サービス

※BPO:ビジネス・プロセス・アウトソーシング

サービス&サポート

キヤノンカスタマーサポート(株)	1996. 4	50	878	キヤノン製品を中心としたお問い合わせ窓口業務、サービスセンター業務、フォトカルチャー支援業務
------------------	---------	----	-----	--



放送用レンズ



ロボットカメラシステム

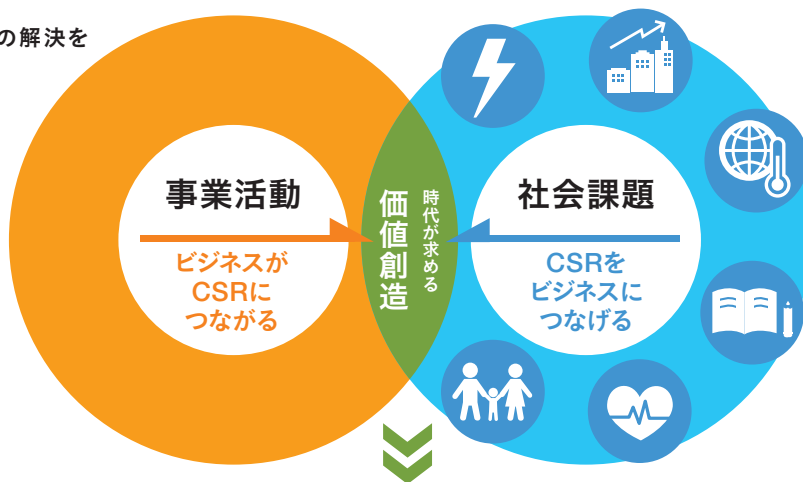
ネットワークカメラ
「WebView
Livescope」高速インクジェット輪転プリンター
「ProStream」プロダクションプリンター
「ImagePRESS」Mattson Technology社製
(半導体)アニーリング装置Evatec社製
スパックリング装置3D SYSTEMS社製
金属3DプリンターESET社製
セキュリティソフト

私たちは、キャノングループの企業理念「共生」と、行動指針の原点である「三自の精神」のもと、さまざまなCSR活動を着実に続けることで、あらゆる人々、社会から信頼される企業グループを目指します。お客さま、株主・投資家、ビジネスパートナー、従業員、そして地域社会や地球環境など多くのステークホルダーの要請や期待に事業を通して応えていきます。

事業活動を通じた社会課題の解決 — Business with CSR —



キャノンMJグループは、事業活動を通じた社会課題の解決を「Business with CSR」というスローガンのもとに展開しています。



Business with CSR = 事業活動 × 社会課題

「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」は、2015年9月に国連サミットにおいて採択された国際社会共通の目標で、2030年までの達成を目指しています。キャノンMJグループでは、セキュリティソリューションによる安心・安全な社会づくりや、カーボン・オフセット制度を活用した製品の提供による環境負荷

低減など、「Business with CSR」を推進することでSDGsへ貢献しています。SDGsに関連する事業活動を通じた社会課題解決の事例や導入されたお客さまの声などをポータルサイトで公開しています。

▶ canon.jp/bwcsr

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境経営

事業所・物流での取り組みや、環境配慮製品の提供、回収・リサイクル活動などを通じて、環境負荷低減に取り組んでいます。

■ 事業所・物流での取り組み

事業所の複合機や照明の省エネ機器への入れ替え、照明・空調の節電対策、働き方改善などでCO₂削減に取り組んでいます。省資源活動では廃棄物、水、化学物質の適正管理を行っています。物流では他社との共同配送を行い、積載率向上・配送車両削減につなげています。

■ カーボン・オフセットの取り組み

複合機のライフサイクル全体で排出するCO₂を、他の場所での排出削減・吸収量で埋め合わせ（オフセット）し、実質ゼロにするカーボン・オフセットの取り組みを行っています。



どんぐりマーク

■ 製品の回収・リサイクル

使用済みキャノン製品をお客さまから回収しリサイクルすることで循環型社会構築に貢献しています。回収した製品はキャノングループのリサイクル会社などで部品の再利用・再資源化、使用済みカートリッジはリサイクル処理をし、限りある資源を有効利用しています。

■ 環境出前授業の実施

“ゴミを減らすこと、資源を繰り返し使うこと”の大切さを次の世代へ伝えることを目的に、プリンターの消耗品リサイクルを題材にした授業を、全国の子どもたちを対象に実施しています。素材の性質を利用してプラスチックや鉄などを分別する実験を取り

入れ、リサイクルについて楽しく学ぶことができるよう工夫しています。学習者が能動的に学ぶことができるアクティブ・ラーニングの手法を採用した授業内容は、教育機関や地域の方々からも高い評価を得ています。



私たちのCSR

詳しい情報は、右記のURLをご覧ください。<https://cweb.canon.jp/csr/>

コンプライアンス

コンプライアンスを法令遵守にとどまらず、「法令や社会のルールを守り、社会正義を堅持し、社会の期待に応え続けていくこと」と捉え、グループをあげて取り組んでいます。

- 「キヤノングループ行動規範」および「コンプライアンス・カード」による意識啓発
- コンプライアンス関連情報の定期配信（月次＋臨時）による知識習得
- 各職場で実施する「コンプライアンス・ミーティング」によるリスクと対策の議論・共有・実践



◀コンプライアンス・カード

情報セキュリティ

「企業の社会的責任としての情報セキュリティ基盤強化」と「お客さまへの価値提供プロセスにおける情報セキュリティ品質の向上」という2つの視点で、グループをあげて情報セキュリティ成熟度の向上に取り組んでいます。

- サイバーセキュリティリスクに対する対策強化
- グループ情報セキュリティガバナンスの強化
- グループ情報セキュリティマネジメントの均質化と効率化
- 情報セキュリティ人材の育成
- 情報セキュリティ活動の積極的な情報開示
- お客さまへの価値提供プロセスにおける情報セキュリティ品質の向上
- お客さまの情報セキュリティ課題解決への貢献



社会貢献

社会の要請や期待に応える活動を積極的に行い、より良い社会づくりに貢献しています。

■未来につなぐふさとプロジェクト

子どもたちの未来に、多様な生き物を育む美しく緑豊かなふさとを残すことを目指し、NPOなどと連携し、国内のさまざまな地域で環境保全や環境教育を行うプロジェクトを展開しています。



■校舎の思い出プロジェクト

建て替えや統合により取り壊される小学校を対象に、校舎での最後の思い出づくりをサポートする取り組みです。ぺんてる(株)と協働し、子どもたちの思い出を「つくる」「のこす」活動を支援しています。



■みんなの笑顔プロジェクト

2012年から東日本大震災の被災地の復興支援活動として、被災地の親子を招待し、写真家の先生の指導のもとでの写真撮影やプリント体験プログラムを実施するなど、被災地のコミュニティづくりの支援を行っています。



スポーツの魅力を伝える幅広い取り組みを通じて、スポーツの発展に貢献しています。

■東京2020ゴールドパートナー

キヤノンは、スチルカメラとデスクトップ・プリンターのカテゴリーにおいて、「東京2020ゴールドパートナー」として東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に協賛しています。大会でのカメラ・レンズのメンテナンス、製品貸出などのサービスを通じて、報道の現場をサポートし、スポーツの発展に貢献していきます。



Canon



東京2020ゴールドパートナー(スチルカメラ&デスクトップ・プリンター)



スポーツ支援

■ラグビーワールドカップ2019™日本大会オフィシャルスポンサー

キヤノンは、ラグビーワールドカップ2019™日本大会へ協賛しました。カメラ・レンズ・ビデオカメラなどの入力機器に加え、複合機やプリンター・プロジェクターなどの出力機器、医療機器など幅広いカテゴリーにおいて、日本大会をサポートしました。



●沿革

主なできごと

1968年	キャノン事務機販売、 キャノン事務機サービスを設立	1971年	キャノン事務機販売、 キャノン事務機サービス、 キャノンカメラ販売を統合し、 キャノン販売 (現:キャノンマーケティングジャパン)を設立	1980年	キャノンNPスターマスターズクラブを発足 キャノンシステムアンドサポートの前身、 コピア販売(1986年にキャノンコピア販売に 社名変更)を設立
1969年	キャノンカメラ販売を設立	1973年	銀座に「キャノンサロン」を開設	1981年	キャノン販売が 東京証券取引所市場第二部に上場
		1974年	セレナー商事を設立	1982年	セレナー商事がキャノン営研に社名変更
		1978年	キャノン販売が日本エレックス (1979年にキャノンシステム販売に社名変更) を関係会社化 第1回事務機全国販売店会を開催	1983年	キャノン販売が 東京証券取引所市場第一部に上場 アップルコンピュータ社と販売提携
				1984年	ゼロワンショップ1号店、 新宿副都心にオープン
				1985年	日本アイ・ピー・エム社と販売提携
				1986年	ヒューレット・パカード社と販売提携
				1988年	お客様相談窓口として、 レスポンスセンターを開設
				1989年	キャノン営研とキャノンシステム販売が合併し キャノンシステム営研を設立 日経産業消費研究所の 「企業営業力調査」で総合1位の評価を得る

1968～

1970～

1980～

製品・サービス

1968年	初のIC電卓「キャノラ163/161S」を発売 1桁1万円の計算機「キャノラ1200」を発売	1970年	国産初の半導体焼付装置「PPC-1」を発表 国産初の普通紙複写機「NP-1100」を発売 世界初の携帯型プリンター電卓 「ポケトロニク」を発売。 パーソナル電卓市場へ進出	1980年	国産初のG2規格ファクシミリ 「テレファクスB-601」を発売 国産初のローマ字入力方式採用 「キャノワード55」を発売。 ワードプロセッサ分野へ進出
		1971年	キャノン初のプロ用一眼レフカメラ「F-1」 およびFDレンズ群を発売 ビリングプロセッサ「BP-1000」を発売。 オフィスコンピューター分野へ進出	1982年	世界初のカートリッジ方式複写機 「ミニコピアPC-10/20」を発売
		1976年	世界初のマイコン搭載AE一眼レフカメラ 「AE-1」を発売 世界初の無散瞳眼底カメラ 「CR-45NM」を発売	1984年	世界初のモノクロレーザー複写機 「NP-9030」を発売
		1978年	カラーコピーサービスを開始	1985年	世界初のバブルジェット方式 インクジェットプリンター「BJ-80」を発売
		1979年	世界初の半導体レーザー内蔵 レーザービームプリンター「LBP-10」を発売	1987年	世界初のフルカラーデジタル複写機 「カラーレーザーコピア1」(愛称・PIXEL)を発売 AF一眼レフカメラ「EOS650」 およびEFレンズ群を発売
					レーザービームプリンター「LBP-8II」、 「LBP-B406」(愛称・レーザショット)を発売
				1989年	カラーステーション 「カラーレーザーコピア500」(愛称・PIXEL DiO) を発売 最高級AF一眼レフカメラ「EOS-1」を発売

1990年	通産省のシステムインテグレーター認定企業となる キヤノン販売がキヤノンシステム営研を合併 日本サン・マイクロシステムズ社と販売提携 「カートリッジ回収リサイクルシステム」国内運用を開始	2000年	キヤノンコピー販売が キヤノンシステムアンドサポートに社名変更	2011年	キヤノンマーケティングジャパングループ 長期経営構想フェーズⅡ(2011～2015) スタート
1991年	クレイ・リサーチ社と販売提携 「EOS学園」を開設	2003年	キヤノン販売が住友金属システムソリューションズを子会社化し、キヤノンシステムソリューションズに社名変更 東京・港区港南にキヤノン販売 新本社ビル「キヤノン S タワー」が竣工	2013年	キヤノンITソリューションズが Material Automation(Thailand) Co., Ltd. を子会社化
1992年	NTTデータ通信、日本アイ・ビー・エム、 日本電気と、CG-ARTS協会を設立 シリコングラフィックス社と販売提携	2006年	キヤノンマーケティングジャパングループ 長期経営構想フェーズⅠ(2006～2010) スタート キヤノンシステムソリューションズが FMS(現:キヤノンITSメディカル)を子会社化	2014年	昭和情報機器、日本オセ、キヤノンプリント スクエアを統合し、キヤノンプロダクション プリンティングシステムズを設立 キヤノンITソリューションズが エーアンドエーを子会社化
1994年	キヤノン販売幕張本社ビル竣工式を挙行 パソコン通信サービスを利用し、 お客様窓口「キヤノンステーション」を開設	2007年	キヤノンマーケティングジャパンが アルゴ21を子会社化	2016年	キヤノンマーケティングジャパングループ 長期経営構想フェーズⅢ(2016～2020) スタート
1996年	Jリーグオフィシャルスポンサーとして キヤノンとともに協賛 日本レスポンスサービス (現:キヤノンカスタマーサポート)を設立 通産省「消費者志向優良企業」の 表彰を受ける	2008年	キヤノンシステムソリューションズとアルゴ21 が合併し、キヤノンITソリューションズが発足 キヤノンITソリューションズがビックニウスを 子会社化し、クオリサイトテクノロジーズに 社名変更	2017年	キヤノンと共同で商業印刷機の体験施設 「Customer Experience Center Tokyo」を 開設
		2009年	キヤノンマーケティングジャパンがエヌ・アール・ アイ・ラーニングネットワークを子会社化し、 エディフィストラニングに社名変更	2018年	製品・チャネルに基づいた組織体制から、 市場・顧客に基づく体制へとフレームワークを 変更 ESET社と合弁会社イーセットジャパンを設立

1990～

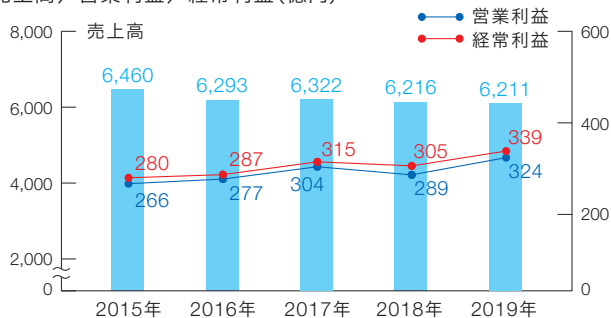
2000～

2010～

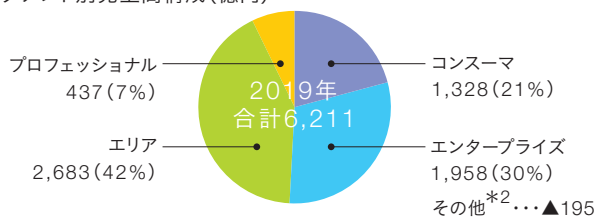
1992年	モノクロデジタル複合機 「GP55」(愛称・MEDIO)を発売	2000年	カードサイズのコンパクトデジタルカメラ 「IXY DIGITAL」を発売	2011年	オセ社製の業務用高速プリンターを販売開始 クラウドサービス基盤「SOLTAGE」を提供開始
1993年	普及型一眼レフカメラ「EOS Kiss」を発売	2001年	プロ用デジタル一眼レフカメラ 「EOS-1D」を発売		「DreamLabo 5000」を発売。 業務用フォトプリンター市場に参入
1994年	パーソナル用フルカラーBJプリンター 「BJC-600J」を発売 世界初のフルカラー自動両面コピーを実現した 「CLC800」(愛称・NEW PIXEL DiO)を発売	2002年	インクジェットプリンターのブランド名を 一新した「PIXUS 950i」などを発売 カラー複合機「Color imageRUNNER iR C3200/C3200N」を発売	2012年	映像制作機器「CINEMA EOS SYSTEM」を 発売。映像制作市場に本格参入 ミラーレスカメラ「EOS M」を発売。 ミラーレスカメラ市場に参入
1995年	初のデジタル一眼レフカメラ 「EOS DCS 3」を発売 世界初の一眼レフ用手ブレ補正ズームレンズ 「EF75-300mm F4-5.6 IS USM」を発売 モノクロデジタル複合機「GP215」を発売	2003年	高画質・小型軽量・簡単操作の 普及型デジタル一眼レフカメラ 「EOS Kiss Digital」を発売		「西東京データセンター」がサービス開始 フルHD対応ネットワークカメラ 「VB-H41/VB-H41B」などを発売
1996年	世界最小APS対応カメラ「IXY」を発売 初のコンパクトデジタルカメラ 「PowerShot 600」を発売	2007年	プロダクションプリンター 「imagePRESS C7000VP」を発売。 デジタル商業印刷市場に本格参入	2013年	米国3D SYSTEMS社製の 産業用3Dプリンターの取り扱いを開始
1998年	ヤマト運輸と共同でキヤノン宅配メンテナンス サービスを開始(修理品を宅配便で回収・配達)	2008年	オフィス向け通販サービス 「キヤノン ワンストップ スクエア」を提供開始 (2013年に「コレモール」に名称変更)	2014年	ビジネス向けインクジェットプリンター 「MAXIFY」シリーズを発売
1999年	インクジェットプリンター 「BJ F850」(愛称・WonderBJ)を発売	2009年	ITとの連携を強化した次世代オフィス向け 複合機「imageRUNNER ADVANCE」 シリーズを発売 中小オフィス向けIT支援サービス 「HOME」を提供開始	2016年	メディカルイメージラボ社と医用クラウドサービス 「Medical Image Place」を共同開発。これ を利用した「遠隔読影インフラサービス」を開始 マイルストーンシステムズとVMS*の 販売契約を締結し、国内のVMS市場に本格参入 *ビデオマネジメントソフトウェア
				2018年	新マウントを採用した「EOS Rシステム」を発売。 フルサイズミラーレスカメラ市場に参入
				2019年	インスタントカメラプリンターやアソビカメラを 発売し、「iNSPIC」ブランドを拡充

●経営データ(連結)

●キャノンマーケティングジャパングループ
売上高/営業利益/経常利益(億円)



●キャノンマーケティングジャパングループ
セグメント別売上高構成(億円)*1



●売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

	2015	2016	2017	2018	2019
売上高	646,002	629,313	632,189	621,591	621,134
営業利益	26,647	27,676	30,406	28,941	32,439
経常利益	28,040	28,717	31,491	30,519	33,937
親会社株主に帰属する当期純利益	15,670	18,161	20,679	20,826	22,250

※百万円未満は切り捨て

●セグメント別売上高 (百万円)

	2015	2016	2017
ビジネスソリューション	326,870	334,603	338,145
ITソリューション	141,200	128,798	134,896
イメージングシステム	178,701	159,206	152,339
産業・医療	27,153	32,208	34,308
その他*	▲ 27,923	▲ 25,503	▲ 27,501
合計	646,002	629,313	632,189

	2018*	2019
コンシューマ	150,244	132,790
エンタープライズ	187,717	195,828
エリア	255,910	268,309
プロフェッショナル	52,447	43,675
その他*	▲ 24,729	▲ 19,470
合計	621,591	621,134

※百万円未満は切り捨て

●総資産・純資産・自己資本利益率・自己資本比率 (百万円)

	2015	2016	2017	2018	2019
総資産	486,502	497,727	510,832	498,790	503,698
純資産	277,438	280,919	297,522	303,570	325,092
自己資本利益率 ROE(%)	5.7	6.5	7.2	6.9	7.1
自己資本比率(%)	56.9	56.4	58.1	60.8	64.4

※百万円未満は切り捨て

●従業員数 (名)

	2015	2016	2017	2018	2019
	18,101	17,887	17,647	17,282	17,001

※各年12月31日現在

*1 各セグメントの連結売上高を合計した数字は、セグメント別売上高における「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の合計額と異なります。なお、構成比率は、それぞれの単純合計額を基に算出しています

*2 「その他」には、セグメント間内部売上高や、シェアードサービス・BPOサービス(2018年より)などが含まれています

*3 2019年度にセグメント間の事業移管を実施しましたが、2018年実績はセグメント間の組み替え前の数値になっています

●キャノンマーケティングジャパン株式会社

Canon Marketing Japan Inc.

設立	1968年2月1日
資本金	73,303百万円
売上高	連結:621,134百万円 単独:473,229百万円(2019年12月期)
従業員	連結:16,860名 単独:5,126名(2020年4月1日現在)
本社	東京都港区港南2-16-6
上場取引所	東京証券取引所第一部(証券コード:8060)
事業	キャノン製品ならびに関連ソリューションの国内マーケティング
連結子会社数	18社

●役員一覧

代表取締役社長 社長執行役員	坂田 正弘	グループ法務・知的財産担当/マーケティング統括部門長/ プロフェッショナルビジネスユニット長/ プロフェッショナルビジネスユニットヘルスケア部門長
取締役 専務執行役員	足立 正親	エンタープライズビジネスユニット長
取締役 上席執行役員	濱田 史朗	グループ経理担当/グループ監査担当/経理本部長
取締役 上席執行役員	蛭川 初巳	グループ企画担当/グループコミュニケーション担当/ グループサービス&サポート担当/サービス&サポート統括部門長
取締役(社外)	土橋 昭夫	
取締役(社外)	大澤 善雄	
常勤監査役	井上 伸一	
常勤監査役	谷瀬 正俊	
常勤監査役(社外)	橋本 巖	
常勤監査役(社外)	松本 信利	
監査役(社外)	長谷川 茂男	
上席執行役員	久保 邦彦	エリアビジネスユニット長
上席執行役員	森田 浩喜	コンシューマビジネスユニット 副ビジネスユニット長/ キャノンカスタマーサポート(株)代表取締役社長
上席執行役員	岩屋 猛	マーケティング統括部門ビジネスプロダクトマーケティング部門長
上席執行役員	三上 公一	グループコンタクトセンター担当/ デジタルマーケティング・EC企画センター担当/ コンシューマビジネスユニット長/コンタクトセンター統括本部長
上席執行役員	高槻 洋史	グループIT担当/IT本部長
上席執行役員	溝口 稔	グループCSR担当/グループ総務・人事担当/ グループ調達担当/グループロジスティクス担当/ 総務・人事本部長/秘書室長
上席執行役員	大場 康久	プロフェッショナルビジネスユニット 産業機器事業部長
上席執行役員	平賀 剛	キャノンシステムアンドサポート(株)代表取締役社長/ 社長執行役員
上席執行役員	金澤 明	キャノンITソリューションズ(株)代表取締役社長/社長執行役員
執行役員	井本 勝也	グループITS戦略統括センター長/ キャノンシステムアンドサポート(株)取締役副社長
執行役員	林 幸司	マーケティング統括部門 マーケティング推進本部長/ BPO統括センター 副統括センター長
執行役員	近藤 伸也	マーケティング統括部門 ITプロダクトマーケティング部門長
執行役員	野津 和久	コンシューマビジネスユニット コンシューマ中央営業本部長
執行役員	松本 裕之	エンタープライズビジネスユニット MA事業部長/ イメージングソリューション営業本部長
執行役員	魚谷 康幸	エリアビジネスユニット ビジネスパートナー事業部長
執行役員	池田 俊明	エリアビジネスユニット ビジネスパートナー事業部 東京ビジネスパートナー本部長
執行役員	松井 秀和	キャノンカスタマーサポート(株)取締役副社長
執行役員	笹部 幸博	キャノンITソリューションズ(株)取締役/専務執行役員
執行役員	竹中 一起	キャノンITソリューションズ(株)取締役/常務執行役員

キヤノンシステムアンドサポート株式会社

代表取締役会長	松阪 喜幸
代表取締役社長	平賀 剛
取締役副社長	井本 勝也
取締役	植林 知樹
取締役	石渡 幸治
取締役	久保 邦彦
取締役	濱田 史朗
取締役	蛭川 初巳
常勤監査役	今野 聡
常勤監査役	甲斐田 豊光
監査役	谷瀬 正俊
【執行役員】	
社長執行役員	平賀 剛
専務執行役員	石渡 幸治
常務執行役員	大森 郁雄
常務執行役員	野見山 宏
上席執行役員	清原 紀男
上席執行役員	山方 直記
上席執行役員	田中 諭
執行役員	野村 敏彦
執行役員	柳原 一哉
執行役員	田沼 純一
執行役員	柏木 久一
執行役員	河原 勝己

エーアンドエー株式会社

代表取締役社長	横田 貴史
取締役	本間 盛晃
取締役	大島 聡
監査役	伴能 正彦

キヤノンITソリューションズ株式会社

代表取締役社長	金澤 明
取締役	笹部 幸博
取締役	竹中 一起
取締役	石川 計一
取締役	足立 正親
取締役	濱田 史朗
取締役	高槻 洋史
常勤監査役	斎藤 智秀
常勤監査役	藤澤 廣佳
監査役	井上 伸一
【執行役員】	
社長執行役員	金澤 明
専務執行役員	笹部 幸博
常務執行役員	竹中 一起
上席執行役員	石川 計一
上席執行役員	大久保 晴彦
上席執行役員	村松 昇
執行役員	永山 一郎
執行役員	吉田 啓
執行役員	莚田 芳彦
執行役員	須山 寛
執行役員	稲村 嘉光
執行役員	谷口 肇

スーパーストリーム株式会社

代表取締役社長	角田 聡志
取締役	山田 誠
取締役	石川 計一
取締役	莚田 芳彦
取締役	大庭 重生
監査役	伴能 正彦

クオリサイトテクノロジーズ株式会社

代表取締役社長	小森 彦太郎
取締役副社長	木下 昭彦
取締役	藤島 誠一
取締役	笹部 幸博
取締役	吉田 啓
監査役	大庭 重生

Canon Software America, Inc.

Director/Chairman of the Board	小川 一登
Director/President/Treasurer	松本 一弥
Vice President	成井 和道
Secretary	Seymour Liebman

佳能信息系統(上海)有限公司

董事長兼總經理	目木 滋
董事兼常務副總經理	趙 勵
董事兼常務副總經理	周 慶隆
董事	莚田 芳彦
監事	大庭 重生

Canon IT Solutions (Thailand) Co., Ltd.

Authorized Director/President	吉田 誠
Director	川崎 真人

Material Automation (Thailand) Co., Ltd.

Authorized Director/President & CEO	吉田 誠
Director	川崎 真人

ASAHI-M.A.T. Co., Ltd.

Authorized Director	吉田 誠
Director	川崎 真人

MAT Vietnam Company Limited

Chairman	吉田 誠
General Director	川崎 真人

エディフィストラーニング株式会社

代表取締役社長	宮野 佳郎
取締役	梅澤 英之
取締役	上原 清義
監査役	小野 隆司

キヤノンプロダクション**プリンティングシステムズ株式会社**

代表取締役社長	井崎 孝
取締役	野上 彰
取締役	小島 康晴
取締役	渡邊 信一
取締役	宮前 光男
常勤監査役	星川 雄一
監査役	濱田 史朗

【執行役員】

社長執行役員	井崎 孝
常務執行役員	野上 彰
常務執行役員	小島 康晴
上席執行役員	斉藤 一則
執行役員	渡邊 信一

キヤノンITSメディカル株式会社

代表取締役社長	黒井 慶信
取締役	伊原 彰人
取締役	松元 光浩
監査役	小野 隆司

キヤノンビズアテンダ株式会社

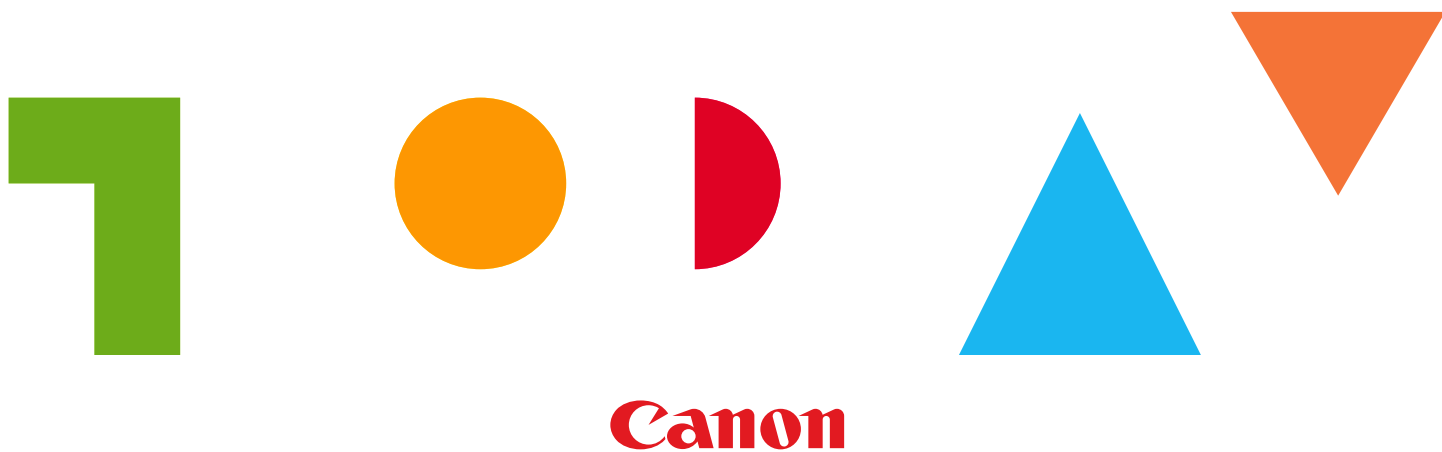
代表取締役社長	今井 肇
取締役	渡邊 雄史
取締役	山中 峰雄
取締役	横山 賢次
取締役	松本 裕之
取締役	中山 強
監査役	伴能 正彦

キヤノンビジネスサポート株式会社

代表取締役社長	木成 義隆
取締役	内藤 照行
取締役	溝口 稔
取締役	今井 肇
監査役	伴能 正彦

キヤノンカスタマーサポート株式会社

代表取締役社長	森田 浩喜
取締役副社長	松井 秀和
常務取締役	吉田 雅彦
取締役	初山 敏光
取締役	志賀 竜二
取締役	橋本 圭弘
監査役	小野 隆司



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON **S**TOWER

本誌の内容は、下記URLからご覧いただけます。

キヤノンマーケティングジャパングループ会社情報ページ

canon.jp/8060